

学校における

Work style reform at school

働き方改革の進め方

I C T活用編

令和4年3月

福岡県教育委員会

小テストの印刷、採点、データ処理を効率化！

Before



After



取り組んだ先生から



福津市立福間中学校
教諭 山脇泰季先生

【取り組んでみて】

選択式や記述式の問題を單元ごとに使い分けながら作成しました。**結果がすぐに反映**されるので、点数や記述の内容を一覧で見ることができます。記述式の問題でも、正答のキーワードを指定しておけば自動採点が可能です。

大規模校なので、4クラス分、印刷するだけでも15分、**集計に2時間**かかっていました。フォームを使えば、作成の時間はほとんどかからず、**集計する時間は0**になりました。

【これから取り組む学校へ一言】

まわりの先生と「やってみると、こうすればよかったですよ。」と話しながら「**トライ&エラー**」で一緒に取り組んでいます。実際にやってみると**とても簡単**です。必ず活用はできると思うので、**まずは使ってみてほしい**と思います。

ICTを活用すれば、授業の導入段階や終末段階で小テストを実施し、その場ですぐに結果を把握することができます。結果に基づいた即時の授業改善や一人一人の実態に応じた指導が可能になります。また、このような記録の積み重ねは、学期末の評価にも活用できます。

すぐに情報共有し、時間を効率化！

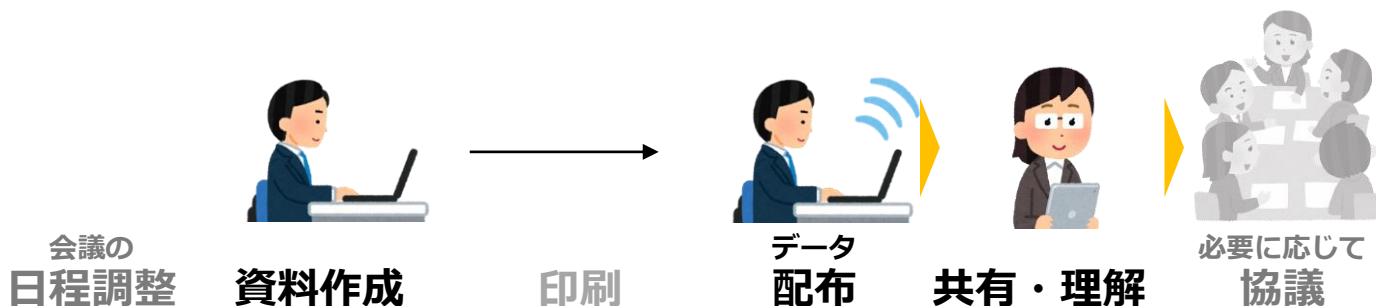
Before

決められた時間に、みんなが集まって会議を行う。
話し合う内容はその場で初めて分かり、会議に遅れてしまう人も…



After

グループウェア(情報共有やコミュニケーションをネットワーク上で
行うツール)を取り入れることで、情報をいつでも、どこでもやりとり
することができる。過去のやりとりを確認することも簡単。



取り組んだ先生から



福智町立金田義務教育学校
教頭 大塚忠生先生

一日の流れや様々な連絡事項を共有するためにICTを活用しています。予定をいつでも確認でき、印刷の手間がなくなったことに大きなよさを感じています。確認し忘れることがないように、先生方へのリマインダーメールや声かけを大切にしています。

職員全員が集まる会議等が減り、先生たちの時間を生み出すことができました。その結果、教材研究や子供と関わる時間を増やすことができています！



福智町立金田義務教育学校
教頭 藤川和久先生

組織や取組に応じてグループをつくると、より効果的です。また、学校内だけでなく、同じ市町村内で他校の先生と情報共有できる仕組みをつくれれば、さらに便利さが広がりますね。

働き方改革を進めるために役立つ資料です

今回のリーフレットの参考資料

全国の学校における 働き方改革事例集



https://www.mext.go.jp/content/20210330-mxt_kouhou01-100002245_1.pdf

先生方で視聴してはどうでしょうか

「学校の働き方改革」

公式プロモーション動画

<https://www.youtube.com/watch?v=yjpehOelPxE>



ICTを活用するアイデアはこちら！

スタディーエックス スタイル

StuDX Style

GIGAスクール構想を浸透させ 学びを豊かに変革していくカタチ

<https://www.mext.go.jp/studxstyle/>



リーフレット解説動画

今回のリーフレットをもとに、ICTを活用した働き方改革に関する解説や、実践に取り組んだ先生方のインタビューを動画で見ることができます。

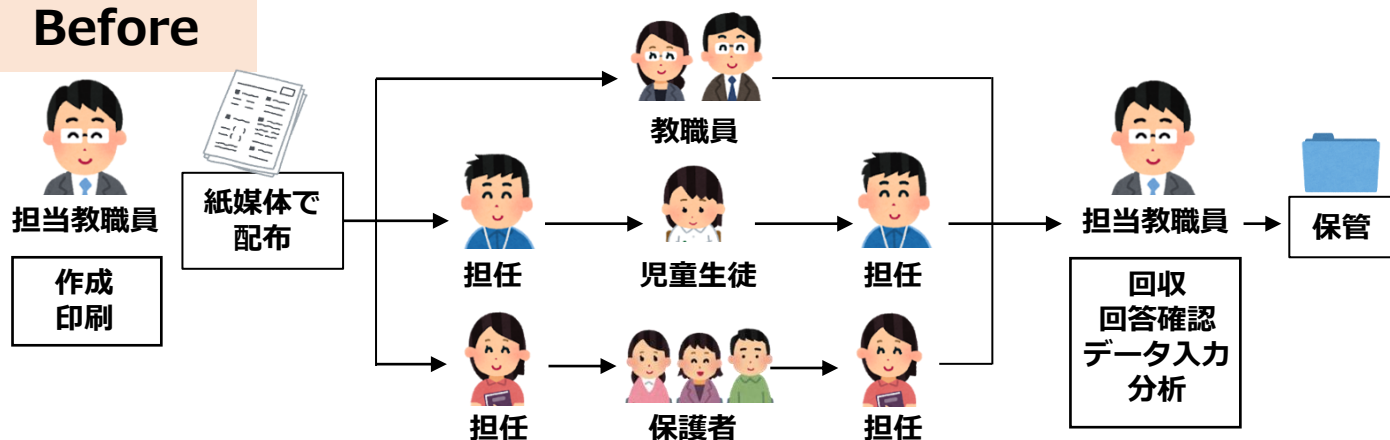
http://gimu.fku.ed.jp/one_html3/pub/default.aspx?c_id=178



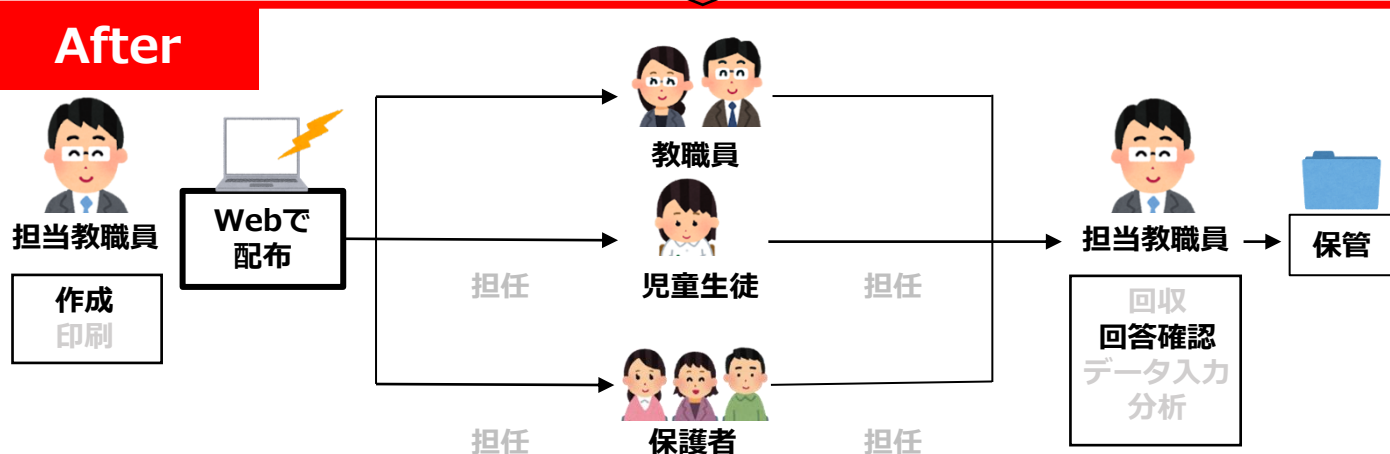
業務改善にあたっては、「やめてしまって大丈夫か。」「ICT化して弊害はないか。」といった不安がつきものです。これまでの教育活動には、それぞれの意義やよさがあり、それ自体が否定されるものではありません。しかし、**人・モノ・カネ・時間という限りあるリソース（資源）を有効に活用するためには、業務に優先順位をつけて精選を進めていく必要があります。**各学校や地域の実情を踏まえながら、働き方改革推進のための参考にいただければ幸いです。

アンケートの印刷、回収、データ分析を効率化！

Before



After



取り組んだ先生から



うきは市立御幸小学校
教頭 佐々木裕子先生

【取り組んでみて】

学期末の保護者アンケートや運動会等の行事後のアンケートに安心安全メールのWebアンケートを使うことで、印刷や回収、集計にかかる**時間を大きく短縮**することができました。
Webアンケートには行事後すぐに保護者からの回答が来ました。紙のアンケートよりも、**回答しやすい**ようです。

【これから取り組む学校へ一言】

送ってしまうと修正ができません。そこで、本校では、質問項目が分かりやすいかどうか、こちらの意図が正しく伝わるかどうか、**テスト配信**を行うことを大切にしています。

最初から全てをWebアンケートに切り替える必要はありません。児童生徒向けアンケートなど、取り組みやすいところから進めていきましょう。

見開き左半分のページ

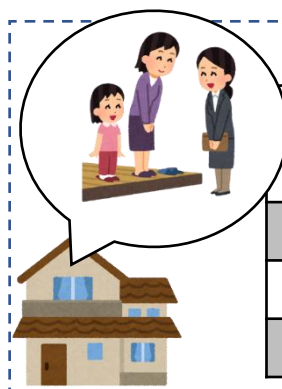
保護者・児童生徒との面談や説明会を効率化！

Before

学校での面談や説明会は、会場設営や保護者の移動に時間を要しますね。



または



訪問は移動に時間がかかります。

予定表	氏名
14:00～14:15	Aさん
14:15～14:30	移動
14:30～14:45	Bさん
14:45～15:00	移動

After

家にいなくても
面談可能です



オンラインなら、移動時間なし！
保護者は、自宅にいなくても参加可能！
時間を有効に使えるので、余裕をもって、
面談や説明ができますね。

オンライン面談予定表	氏名
14:00～14:15	Aさん
14:15～14:30	Bさん
14:30～14:45	Cさん
14:45～15:00	Dさん



学校にしながら
保護者と話ができます



取り組んだ先生から



築上町立下城井小学校
教諭 長田友貴先生

【取り組んだこと】

タブレットを用いて、各家庭から修学旅行の事前説明会に参加していただきました。タブレットは子供が普段学校で使っているものです。子供も保護者の方と一緒に家庭で参加しました。

【効果を感じたこと】

コロナ禍で保護者の方と会える機会が少なくなっていますが、画面越しではあっても**直接お話しできる**機会がもてました。また、椅子等の準備もする必要がなく、タブレット一台で実施することができて**時間の削減**にもなりました。

保護者や児童生徒が対面で話すことを希望することもありますし、学校としても対面や家庭訪問だからこそ把握できることもあるので、その必要があると判断する場合もあります。どちらか一方だけ、という二者択一ではなく、目的や状況に応じて、オンラインと対面を使い分けることが大切です。

見開き右半分のページ